



外国出張報告書

平成 27 年 4 月 2 日

1. 出張国名 フィリピン
2. 出張月 平成 27 年 3 月
3. 出張目的 国際稲研究所(IRRI)にて、会議参加及び 2015 年乾期作の収穫時調査
 : A

4. 成果の概要

乾燥ストレス回避に有効であると考えられる早生系統の育成について、IR64 に導入した出穂性遺伝子の効果を圃場条件で確認した。SPIKE の東南アジア・南アジアにおける主力品種への導入系統について、典型的な表現型である止葉と 1 穂粒数の測定を行うために、圃場観察及びサンプリングを行った。また、天水田での意思決定システム開発に関するワークショップに出席し、出穂性や収量性に関してこれまで育成してきた系統の発表を行うとともに、次期プロジェクトでの育種での主要課題を検討した。3 月 23-27 日に、IRRI で出張者の所属する植物育種・遺伝・バイオテクノロジー部(PBGB)の会議に参加し、研究者間で進捗を共有し、今後の連携を協議した。